

シリーズ・FIDIC 会員協会の紹介 第 16 回

インドネシア・コンサルティング・エンジニア協会 Ikatan Nasional Konsultan Indonesia NATIONAL ASSOCIATION OF INDONESIA CONSULTANTS (INKINDO)

広報委員会 編

1. 概要

インドネシアは、ご承知の通り、スマトラ島、ジャワ島、ボルネオ島など多くの島国からなる国であるが、その総面積は日本の 5 倍に相当する約 190 万平方キロメートルである。人口も、現状では約 2.5 億人と世界第 4 位の巨大な人口を抱えた国といえる。

インドネシアのインフラ整備に係る主要課題は、ジャカルタなど大都市での交通渋滞、電力設備増強、人口増加に伴う上下水道の整備（ジャカルタの下水道普及率は 2%）などである。

インドネシア協会（以降は INKINDO とする）には、国内のコンサルタント会社だけでなくインドネシアで業務を実施している国際的なコンサルタント企業もメンバーとして加盟している。

INKINDO は、1970 年ころ設立された 2 つの協会、IKINDO（インドネシアコンサルタント協会）と PKTPI（コンサルティング技術者協会）が統合し、1979 年に設立された。協会のメンバーは拡大しており、地理的にもサービシ的にも拡大に向かっている。当初、6 州 107 のメンバーであったが、今日では 33 州（全部で 34 州からなる）7000 のメンバーまで拡大している。FIDIC の会員拡大とともに、地理的にも、活動すべき事項も拡大してきた。



2. ビジョンとミッション

INKINDO は、以下のようなビジョンとミッションを掲げて活動をしている。

(1) ビジョン

「メンバーは、公正で豊かな社会の実現のために、国の技術開発や技術者の育成を支援する」

(2) ミッション

- ・メンバーの共同の推進
- ・倫理規定および行動規範に則って威厳のある整然とした規律と信頼性の高いコンサルタントとなること
- ・国の発展のために、参加メンバーを増やすこと

- ・ユーザーへの最高のコンサルタントサービス提供を促進すること
- ・メンバーの保護

3. 協会行動規範の概要

インドネシア協会では、7 条、21 項目にもわたる行動規範を規定している。

第 1 条：職業倫理について、同業者を尊敬することや違反をしないこと、相応しくない行動は取らないなどを規定

第 2 条：公正な活動の実施については、適正なサービスの提供や相応しい人材の投入、必要に応じた他の専門家との共同など

第 3 条：企業間の交流や連携については、技術交流を行い、互いに協力することなど

第 4 条：適正な報酬については、能力やサービスに応じた報酬など

第 5 条：職業への自負と同業者への尊敬

第 6 条：腐敗防止については、贈与や談合などの防止について

第 7 条：専門家としての業務遂行と共同

4. ホームページ

Website: <http://www.inkindo.org>（インドネシア語）

Email: inkindo@inkindo.org

参考資料：ASPAC ニュース

<http://www.ajce.or.jp/fidic/ASPAC/ASPAC.htm>

5. 連絡先

Telephone: +62 573 85 77

Fax: +62 573 34 74

Location:

Jl. Bendungan Hilir Raya No. 29

Jakarta Pusat 10210 Indonesia

シリーズ・FIDIC 会員協会の紹介 第 15 回

ニュージーランド・コンサルティング・エンジニア協会 The Association of Consulting Engineers New Zealand (ACENZ)

広報委員会 編

ニュージーランド・コンサルティング・エンジニア協会 (ACENZ) は 1959 年に創立され、2013 年現在会員数 9,600 人、参加企業数 173 社を有する組織である。

ACENZ はエンジニア分野に関連する信頼されるビジネスリーダーを育成することをビジョンとし、このビジョンを達成するために、

- 1) エンジニアの視点から事業実施決定者に提言をしながら信頼を得つつ事業を推進する、
- 2) 情報・資源などを集約しながら、付加価値の高いコンサルティング・サービスの提供、
を行っている。

1. ACENZ の若手育成活動

1) 若手リーダーの育成

ACENZ は 2013 年から次世代を担う 35 歳以下の若手リーダー育成を推進する活動を行っており、経験豊かな会員が若手リーダーの指導者となって知識・経験の伝承を行っている。

また、若手リーダー育成は技術的視点を重視しつつもコンサルタントの立場としての話の進め方、マネジメント、基本的な契約管理をはじめとするビジネス関係に重心を置き人材育成を行っている。

2) 研修への一部補助

ACENZ は、関連団体である Organization Development Institute が主催する管理者リーダーシップ研修等参加費の一部補助を行うなど積極的に参加企業の人材育成を行っている。

2. ACENZ 加入団体の分類

ACENZ は、以下に示す専門的な技術に分類し、参加企業は中小企業から 2,000 名以上の社員を擁す大企業まで幅広い。

- 音響工学
- 建築工学
- アセット・マネジメント
- 土木工学
- 契約管理
- 電気工学

- 工学技術
- 環境工学
- フィージビリティ・スタディ
- 火災工学
- 機械工学
- プロジェクト・マネジメント
- 地震工学
- 構造工学
- 測量工学
- 交通工学
- 水管理工学

3. コンサルタントデータベース

ACENZ のホームページ右上 Locate Engineers のアイコンをクリックすれば、コンサルタントを検索するためのデータベースが起動する。当データベースでは専門技術分野や地域別に検索が可能となっている。

4. Web サイトおよび連絡先

住 所：Level 8, 276 Lambton Quay, Wellington
6011, New Zealand

私書箱：P.O.Box 10247, Wellington 6143, New
Zealand

TEL:+64-4-472-1202

FAX:+64-4-473-3814

E-MAIL:service@acenz.org.nz

5. ACENZ の Web サイト

<http://www.acenz.org.nz/home.aspx>



シリーズ・FIDIC 会員協会の紹介 第 14 回

マレーシア・コンサルティング・エンジニア協会
The Association of Consulting Engineers Malaysia (ACEM)

広報委員会 編

マレーシア・コンサルティング・エンジニア協会（以下 ACEM）は、1963年に設立され昨年50周年を迎えました。本部はクアラルンプールにあり、マレーシアの行政区画である13州のうちサバ州とサラワク州に支部があります。会員数は個人会員が769名、企業会員が433社となっています。（2014年4月現在）

ACEMの英語版Webサイトはかなりのボリュームがあり、幅広い活動をしていることがうかがえました。

1. 協会の活動目的

AJCEの活動目的と重なるところがかなり多い印象でしたが、一部をご紹介します。

- ・ ACEMは政府機関、公共機関、産業や貿易に関係する組織に助言を与えるコンサルタントに関係する組織を統合し、コンサルティング・エンジニアの地位向上を促進するために設立されました。
- ・ 技術的な問題に助言を与えるコンサルティング・エンジニアがクライアントに対して十分な権限を持ち、あらゆる専門的手段をもって活動できることを実現します。
- ・ コンサルティング・エンジニアが専門家として業務を行う中で生じたあらゆる問題について、会員に助言や支援を与えます。
- ・ 会員資格は、マレーシアにおいて個人のコンサルティング・エンジニアとして活動している者、またはマレーシアのコンサルティング・エンジニア企業のパートナーやコンサルタントとして活動している方に付与されます。

2. 組織

会長、副会長、前会長、事務局長および10名のメンバーからなる審議会があり、以下の8つの事項に関する委員会があります。

- ・ ビジネス実務
- ・ 教育
- ・ 財政管理
- ・ 情報およびコミュニケーション
- ・ 保険
- ・ 会員
- ・ 専門家実務
- ・ 出版および出版関連

3. ACEM が行っている主な活動

- ・ イベント開催
開催されない月もありますが、毎年十数回から二十回ほ

ど、若手技術者教育、設計基準の改定や建設技術紹介の講習会やシンポジウムが開催されています。

・ 出版物

毎年ACEM名鑑が発行され、会員相互の情報交換に役立てられています。また、建設業の情報や専門技術を紹介する季刊誌も出ています。防災についてなどの専門誌も扱っています。

・ 2013年ACEM工学賞

マレーシア協会の創立50周年記念の晩餐会において、2013年のACEM工学賞の表彰が行われました。応募はマレーシア協会の会員企業に対してのみ受け付けられ、この年は金賞1社、銀賞3社、銅賞2社の表彰がされました。2010年にもコンサルタント産業に目覚ましい貢献をしたACEM会員を表彰したようです。

・ P. Ganendra奨学金

マレーシア協会では地元の工学系大学で学ぶ学生のために奨学金の制度を設けています。この制度はマレーシアでも有数の総合コンサルタント会社であるMinconsult Sdn Bhd社を設立したIr. P. Ganenda氏を記念して2009年に設立されました。

4. Web サイトおよび連絡先

① ACEMのWebサイト <http://www.acem.com.my/>

② 連絡先

TEL : +60-03-20950031 FAX : +60-03-20953499

E-mail : sec@acem.com.my

ACEMのWebサイト



シリーズ・FIDIC 会員協会の紹介 第13回

ヨルダン・エンジニア協会 Jordan Engineers Association

広報委員会 編

ヨルダン・エンジニア協会は、1958年に創立され、会員数約2,000名を有する組織である。

残念ながら、ウェブサイトはアラビア語のみであるため、翻訳ソフトで把握した概要を以下に紹介する。

なお、2015年FIDIC大会はヨルダン国アンマン市で開催が予定されている。

1. 協会の目的

ヨルダン・エンジニア協会は、以下に示す目的を掲げている。

- ・専門的経験を体系化し、その専門的水準を発展させ、経済開発、国家開発に参画する。
- ・会員の利益と品格を守り、専門家としての道德規範と伝統を堅持する。
- ・科学研究を通じてエンジニア達の科学水準を向上させる。
- ・エンジニアリング分野における会員の能力向上のための教育・訓練プログラムの計画と開発に参画する。
- ・アラブ諸国共通の課題を研究し、情報を交換する。
- ・身体障害、高齢、死亡の際の会員およびその家族の文化生活を保障し、協会の目標達成に向けて活動する。
- ・ヨルダン国政府の行政機関と協力・連携すると共に、アラブ、ムスリム、および国際的な各種協会とのネットワークを構築し、それらの会員となる。

2. 技術グループ

ヨルダン・エンジニア協会は、以下に示す専門的技術グループを有している。

- ・建築協会
- ・機械工学協会
- ・電気コンサルティング協会
- ・鉱山工学協会
- ・電力学会

3. 活動委員会

ヨルダン・エンジニア協会は、以下に示す委員会を設置している。一般的な技術課題だけでなく、ヨルダン特有の課題に対する委員会が設置されており、協会がヨルダン社会の直面している課題の解決に率先して取り組んでいる様子が伺える。

- ・国家問題正規化委員会
- ・巡礼時課題対策委員会
- ・ジェニン病院委員会
- ・国家産業支援委員会
- ・シリア難民委員会
- ・水・環境委員会
- ・エンジニア問題連絡会
- ・エネルギー委員会
- ・パレスチナとエルサレムのための技術委員会
- ・若手エンジニア委員会
- ・図書館・広報委員会
- ・社会・文化委員会

4. ホームページ

協会ホームページ

<http://www.jea.org.jo> (アラビア語のみ)

参考ホームページ

<http://www.civilsociety-jo.net/en/index.php/professionals-org/professional-associations/285-jordan-engineers-association>

5. 連絡先

E-mail: info@jea.org.jo

Tel: +962-6-56-07-616

Fax: +962-6-56-76-933



シリーズ・FIDIC 会員協会の紹介 第12回

ドイツ・コンサルティング・エンジニア協会
Verband Beratender Ingenieure (VBI)

広報委員会 編

1. 概要

ドイツ・コンサルティング・エンジニア協会 (Verband Beratender Ingenieure : VBI) は、世界をリードするコンサルティング・エンジニア協会の一つである。1903年に創立され、3,000社以上の会員企業、45,000人以上もの高いスキルを有したコンサルタント・エンジニアを有している。VBIは、ドイツ国内や海外のインフラ開発において重要な役割を担っており、また、欧州連合参加の組織である EFCA と FIDIC の創立メンバーとして、世界的に大きな影響力を有している。

VBI 会員企業は、様々なプロジェクトにおいて実現可能性調査、資金調達に関するアドバイス、プロジェクトサイトの検討、許認可取得、法的課題の解決などの開発プロジェクト管理などの専門性の高いコンサルティングサービスを提供しており、VBI 会員の売上高は約 400 億ユーロと経済波及効果も大きい。

2. 組織

VBI は、以下に示すような専門的な技術グループを有している。

1. 構造工学
2. 技術設備
3. 水と廃棄物管理
4. 交通と測量
5. 音響及び熱物理学
6. 公認された専門家
7. 電気・照明・情報工学
8. 地盤工学
9. 建築と技術
10. 技術的及び経済的コンサルティング
11. プロジェクトとファシリティマネジメント
12. 労働安全衛生
13. 自然科学
14. エレベータとコンベア技術

3. VBI の活動

VBI では、以下のような活動を実施している。

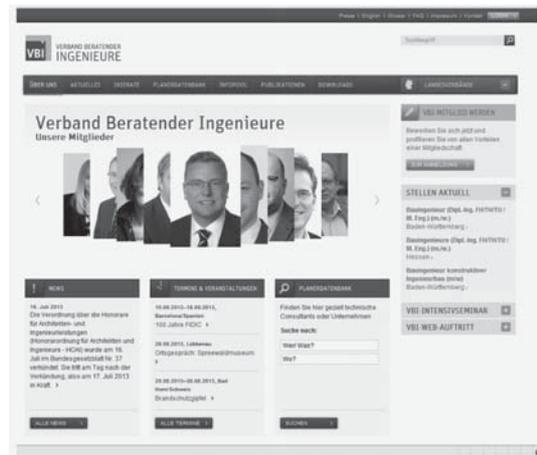
- ・ “VBI-Newsletter”, “Beratende Ingenieure” の発行
- ・ 国際標準契約策定に関する活動への参加
- ・ 国際金融機関との協力
- ・ 欧州議会のための報告書の作成
- ・ セミナーの開催や代表派遣調査の組成 (英版 HP に紹介されている活動)

4. コンサルタントデータベース

VBI は “VBI Database of German Consultants” にて、最適なコンサルタントを簡単かつ迅速に検索するためのデータベースを提供している。当データベースでは、専門技術分野や地域により検索が可能となっている。

5. VBI ホームページ

<http://www.vbi.de/english/>



6. 連絡先

BUDAPESTER STRASSE 31
D-10787 BERLIN
TEL: +49 30 26062 0
FAX: +49 30 26062 100
E-MAIL: VBI@VBI.DE

シリーズ・FIDIC 会員協会の紹介 第11回

スペイン協会

Asociación Española de Empresas de Ingeniería, Consultoría y Servicios Tecnológicos (TECNIBERIA)

広報委員会 編

1. 概要

スペイン・エンジニアリング・技術コンサルティング・サービス企業協会 (TECNIBERIA) は 1964 年に設立され、129 社のコンサルティングエンジニア企業が会員となり、その年間総取引高は 66.2 億ユーロである (2013 年 2 月現在)。

FIDIC 加盟からすでに 20 年以上経過し、会員企業は 5 大陸の 120 か国以上で開発プロジェクトを実施している。協同と連携の精神の下、そのプロフェッショナルな技術を結集し活動するセクターの経済的・社会的利益を守り、高めることを目的としている。



2. 会員

会員企業の業務は以下のとおりである。

- すべての専門的技術分野 (例えば建築、土木エンジニア、産業エンジニア、環境エンジニアなど)
- すべての専門的コンサルティング分野 (組織、企業運営、経済、研究、情報、人材育成、開発、技術イノベーションなど)
- 雇用管理、建設管理、経営管理、物流・サービス・設備の管理

会員企業の会員資格要件として、大学学位取得者 70% 以上の優秀な人材を擁し、高い技術レベルを有することが必要とされている。会員企業の実績や能力、より優れたイノベーション能力などが、社会から評価され、より多くの事業機会を創出している。

3. 活動

1. 政府の支援による商業使節団や海外技術視察への参加

2. 海外企業幹部との会合、および国際的課題の解決協議への参加 (いずれも無償)
3. SAI (国際的な統合支援サービス) : 500 以上の国際プロジェクトに関する情報提供、書類作成支援 (専門家の履歴書、会員の履歴書、スペインエンジニアへ関心を抱く国に対しての PR 資料作成)
4. 商業的オフィス、ICEX (スペイン貿易庁)、海外現地代理店等の会員への紹介
5. EFCA や FIDIC、FEPAC といった国際的なコンサルティングエンジニア組織への参加と連携の促進

4. 参考

2013 年は FIDIC 創立 100 周年であり、2013 年 9 月 15 日～18 日にスペインのバルセロナにて、FIDIC100 周年大会が開催される。



会 長 José Luis González Vallvé

住 所 c/Montalbán 3-5° Dcha E - 28014 Madrid, Spain

Tel/Fax +34-914.313.760 / +34-915.755.499

E-mail tecniberia@tecniberia.es

Website <http://www.tecniberia.es>



シリーズ・FIDIC 会員協会の紹介 第10回

シンガポール協会
Association of Consulting Engineers Singapore (ACES)

広報委員会

今月号は、FIDIC に加入しているシンガポール協会 Association of Consulting Engineers Singapore (ACES) を紹介します。シンガポールは人口500万人ほどの小さな都市国家ですが、コンサルティング・エンジニアの活躍する場は多く、海外の大手コンサルタント会社が軒を連ね会員企業となっています。

1. 協会設立の目的

ACES は1971年に非営利団体として、コンサルティングエンジニアの発展を推進すること、エンジニアが連帯すること、エンジニアの権利、権限や利益を強化推進すること、エンジニアの総意をまとめ公共団体としての役割を果たすこと、施工業者団体など他の関連団体と共通の問題について協議することを目的として設立された。

2. 組織と活動

ACES は評議会を中心に運営されている。評議会メンバーは現会長のコー・ブーン・リャン氏をはじめ、副会長、秘書、監査役、評議員8名および前会長で構成され、いずれも選挙で選出される。ACES 内には土木委員会、電気機械設備委員会、技術促進・セミナー委員会、会員登録委員会、社会開発委員会、IT委員会、ビジネス実践委員会、広報委員会などの常設組織があり、それぞれが定められた目的に応じて活動を行っている。例えば、社会開発委員会はエンジニアの社会的地位の向上やメディアを通じた協会活動の宣伝などを目的としている。広報委員会は、年4回の広報誌を発刊することが主な役目である。

これら常設組織とは別に、政府省庁、技術士協会、シンガポールエンジニア協会、不動産業協会、建築家協会、施工業者協会などの外部団体と共にテーマ毎に外部委員会を設け代表者を派遣して定期協議を行っている。外部委員会では、公共工事計画、環境問題、APEC エンジニアの動向、設計基準の見直し、生産性向上、地盤調査の監理、試験室の許認可制度など幅広い分野での意見交換や協議が行われている。

3. 会員と会員資格

個人会員と企業会員に分かれ、それぞれに正規会員と準会員がある。会員企業は、登録技術士 (PE) 数1～2名の小規模なローカル会社から10名以上の大規模な政府系あるいは海外の大手企業を含む。現在の正規会員企業数は140社程度であり、日系では唯一、基礎地盤コンサルタンツ(株)現地法人が正規会員となっている。

正規会員企業は、シンガポールの技術士法 (PE Act) に基づくライセンスを有することが資格要件である。個人会員は、シンガポールの PE で、かつ実際にコンサルティングを行う技術者であることが条件となっている。

4. 表彰制度

毎年、大学や工業専門学校の優秀な学生を表彰している。また、会員による革新的な設計に対する表彰も実施し、技術者のインセンティブに寄与することやコンサルティングエンジニアの役割を公共にアピールすることを目指している。

5. 若手技術者連帯組織 (YPC)

ACES の内部組織として若手技術者が集う YPC が存在する。この組織の目的は、若手技術者の技術力向上や交流であり、工学系卒業生をエンジニアリング業界へ勧誘することも目的の一つとなっている。具体的な活動として、定期的な現場見学会の実施や FIDIC の若手技術者訓練プログラムへの参加、フットサル大会の開催などがある。

6. 最近の話題

コンサルティング協会の最近の話題は、政府が発表した英国基準 (BS) からユーロコードへの設計基準の変更や、エコに配慮したグリーンビルディング構想の推進などである。会長メッセージはこれらの動きに言及し、協会員にとって挑戦ではあるが、ビジネスチャンスが広がるので、協力して前向きに取り組んで行こうと決意表明している。

ACES の Website <http://www.aces.org.sg/>

シリーズ・FIDIC 会員協会の紹介 第9回

ブラジル協会

Associação Brasileira de Consultores de Engenharia (ABCE)

広報委員会 編

1. 沿革

ABCE (Associação Brasileira de Consultores de Engenharia) 設立は1966年に遡る。ブラジルのコンサルタント業界は当初交通セクターが牽引し、続いて電気エネルギー・石油関連の大型事業が相次いで行われ、コンサルタント企業の技術と経営の両面での発展成長を支えた。さらに上下水道セクターの拡大が専門性の高いコンサルタント企業の増加に繋がったという経緯がある。

そうした中で ABCE はコンサルタント企業同士を結ぶ核となり、業務経験の交換や共同解決すべき障害・課題を特定するといった機能を担い始める。また、研究活動や提案作成を通して関連法令の改定を働きかける一方、契約者や公的機関による違法行為に対し訴訟を起こしたコンサルタント企業の代理役を引き受けるようになる。

長期の経済低迷を経るなど幾多の危機にさらされてきたが、設立45周年の節目を越えた。今後もコンサルティング企業のために決定的な役割を引き受け、業界の価値向上に励みながら、常に企業の技術向上につながるプログラムを支援していく。

2. 組織

本部はリオデジャネイロにある。会員は企業112社、個人5名で構成される。理事会の会長は Mauro Ribeiro Viegas 氏。理事会社は25社。

3. 協会の基本姿勢

エンジニアリングのノウハウを必要としている投資家を導き、ブラジルのエンジニアリングの価値向上を促進すること。

そのため、コンサルタント会社のサービスを求める顧客とも緊密な関係を維持しながら、コンサルタント会

社の適切な選定・契約に関する情報や知見を提供する。

4. 主な活動計画

(HPに掲載されている2009-2010のアクションプランから抜粋)

- エンジニアクラブと共に業界の価値を高めるため、国会議員連盟の再活性化を目指して働きかける。
- 公共民間の顧客と共にコンサルタント会社の正しい活用、及び適切な報酬の徹底化のため活動する。
- ABCE 設定のエンジニア報酬料金の維持と普及に努め、改定していくための調査研究を行う。
- 顧客や外国のコンサルタント、金融業者らを招いたコンサルタント業に関する会合やセミナーを積極的に開催していく。

5. ホームページ、及び連絡先

<http://www.abceconsultoria.org.br>



Av. Rio Branco, 124 - 13o andar - Edifício Clube de Engenharia CEP 20148-900 - Rio de Janeiro - RJ - Brasil.
Tel.(55 21) 2215-1401
E-mail:abce@abceconsultoria.org.br

シリーズ・FIDIC 会員協会の紹介 第8回

デンマーク協会

The Danish Association of Consulting Engineers (FRI)

広報委員会 編

1. 沿革

デンマーク・コンサルティング・エンジニア協会 (FRI) は1904年に設立され、コンサルティングサービス、計画、プロジェクト管理のサービスを提供するコンサルティング会社からなる協会である。

会員企業のビジネス環境の改善や国内及び国際レベルでの地位を高めることを使命として掲げている。

FRI のビジョンは、持続可能なコミュニティ開発を積極的にサポートするコンサルティングエンジニア企業のための組織であることである。

2. 組織

FRI は340社の会員企業からなり、FRI の会員企業の従業員数はデンマーク国内で12,000人以上、国外では9,000人以上になる。

会員企業の総売上高は約15億ユーロで、半数を建築・建設分野が占め、残りを環境、エネルギー、IT分野等で占めている。

FRI は、会員企業から選出された10人からなる理事会と8名で構成される事務局で運営されている。

3. 委員会活動

FRI は、以下の5つの常設委員会の活動を実施している。

- ①建設委員会
- ②エネルギー・環境・気候変動委員会
- ③社会基盤委員会
- ④契約約款委員会
- ⑤国際市場委員会

上記委員会は、主に次の活動に取り組んでいる。

- ・各分野に関連したコンサルティング・サービス
- ・市場の強化、拡大

- ・各分野に関連した研究・開発・教育を通じた業界への貢献
- ・各分野の市場や競争条件のモニタリング
- ・協力機関や社会への活動成果の報告
- ・業界利益の保護
- ・基本的な契約問題の適切な取り扱いの周知

4. 戦略計画

FRI は以下に示す戦略計画を通して、そのビジョンと使命を実現するものとしている。

- (1) 国内外の機関や政策決定者などに対する対応・対策
- (2) 標準的なコンサルタント契約の整備や一般的な業務の解決策の提示
- (3) 業界意識を高めるコミュニケーション強化や業界における専門化の結束を高める活動
- (4) 会員企業に対する情報提供、援助
- (5) 主要顧客とのネットワーク構築や他業界企業との連携

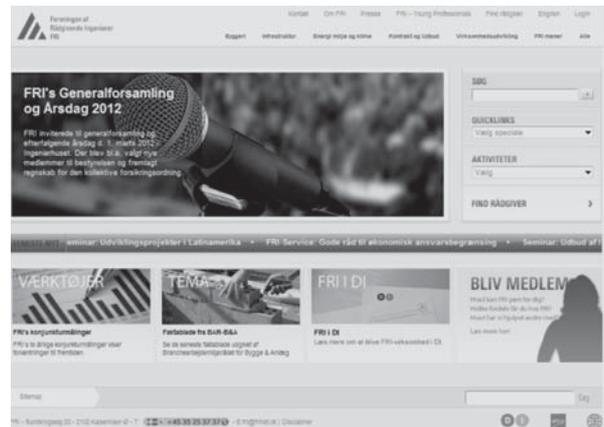
5. 連絡先

Sundkrogskaj 20, 2100 København Ø, Denmark

Website: <http://www.frinet.dk/index.aspx>

Email: fri@frinet.dk

Phone: 4535253737, Fax : 4535253738



シリーズ・FIDIC 会員協会の紹介 第7回

ベトナム協会

Vietnam Engineering Consultant Association (VECAS)

広報委員会 編

1. 沿革

ベトナムを代表するFIDICの会員協会は、Vietnam Engineering Consultant Association (VECAS) と言います。ベトナム国内や海外のコンサルタント企業との連携を進めるために、1995年にコンサルタントの専門組織として設立されました。

2. 組織

VECASは、エンジニアリング・サービスの分野で活動している220の会員から成り、本部はハノイ市にあります。77人から成る理事会（会長：Mr. Nguyen Dang Can）、21人のメンバーから成る委員会と事務局（局長：Mr. Le Duc Son）により運営されています。

3. 協会の基本理念

VECASの理念は、以下の通りです。

- (1) それぞれのメンバーの能力を引き出し、活用しつつ、国の工業化と近代化戦略実現のためにプロフェッショナルとしてのエンジニアリング・コンサルタント活動を進展させる。同時に、法令に則り企業が活動できる安定的なマーケットを創造してゆく。
- (2) 全てのメンバーのコンサルタント活動が保障される法的権利を守り、プロフェッショナルとしての地位の向上を図る。
- (3) メンバー企業と海外企業との間で、プロフェッショナルとしての専門知識、マネジメントやビジネス経験、そして必要な情報交換の促進を図る。

4. 活動目標

- (1) 2011年は220社のVECAS会員を、2015年迄に500社に増加させる。
- (2) 現在、活動拠点はハノイ市とホーチミン市の2つだが、今後、メコンデルタ、中部地域(北、中央、南)と北部の5つを追加し、本部の下に7地域の出先機関を設け活動を促進する。

- (3) 今後、研修・教育機関を設立し、海外からの講師による研修を行い会員の能力開発を図る。いずれはベトナム人講師により実施する。
- (4) 国際委員会を設立し、海外のコンサルティング協会との連携や協力を促進する。
- (5) 現在のVECAS会員は大手企業で構成されているが、今後中小企業の会員を増やし、能力開発のための研修を行い、企業全体の連携を促進させる。
- (6) 今後もFIDICと連携しつつ活動する。

5. 連絡先

6th floor, Intelligent Palace Hanoi City, Tran Thai Tong Street, Cau Giay District, Hanoi, Vietnam
 Website: www.vecas.org.vn Email: vecas@fpt.vn
 Phone: 84438218093, Fax : 84439740109



6. VECAS 会長からのメッセージ

会長の Nguyen Dang Can 氏より、「VECASはAJCEとの連携促進に期待しており、相互でベトナム国内外の事業を実施していきたい。2012年に訪日する折りに具体的な方策を協議したい」とのメッセージを受けております。



Nguyen Dang Can 氏

シリーズ・FIDIC 会員協会の紹介 第6回

英国協会

Association of Consultancy and Engineering (ACE)

広報委員会 編

1. 沿革

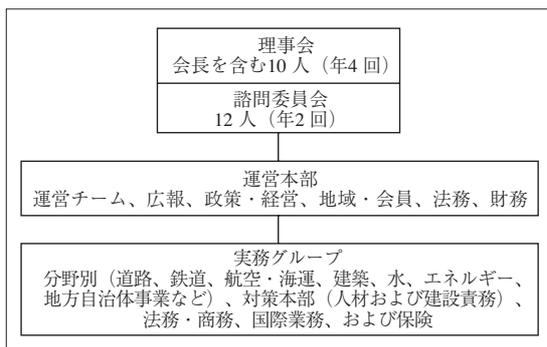
英国を代表する FIDIC の会員協会は、Association of Consultancy and Engineering (ACE) といいます。協会名には国名が入りません。協会名に国名が入らないのは、FIDIC の中でも古参の協会に幾つか見られます。国を意識する以前に「コンサルタント」や「エンジニア」であることを意識していた名残でありましょう。

創立は、FIDIC と同じ 1913 年です。もうすぐ訪れる 2013 年は、彼らにとって設立 100 周年の記念すべき年となります。

2. 組織

ACE は、FIDIC 会員協会の中では米国協会に次いで二番目に大きな規模を持ちます。約 650 社から構成され、約十万人が協会に属していることになります。英国コンサルタント業界の約八割がこの協会の会員です。

同協会の会員になるためには「コンサルタント会社 (consultancy)」としての要件として、有資格者の雇用、事業年数、顧客の推薦、損害賠償保険への加入、および ACE の行動規範に対する遵守の誓約などが問われます。概略の組織構成は下図のとおりです。



ACE 組織図

3. 協会の基本構想

ACE は「理念」「使命」および「価値」という三つの語を冒頭に掲げ協会の基本構想をうち出しています。その内容をくわいて表しました。次のとおりです。

- ・理念：コンサルタント業を選んだ者たちが結集し、一つの声になる、と認められることを志している。

- ・使命：コンサルタントやエンジニアが、国家の基盤向上に向けて、社会や自然環境の中で働き大いに貢献をすることを促進する。
- ・価値：基本的価値観は、コンサルタント/エンジニアとしての熱意、優れたサービスへの献身、倫理に適った行動、および協力の促進である。

4. 活動目標と活動内容

ACE は、五つの活動目標を掲げています。

目標 1：業界の声となること

- ・協会独自の優秀賞の授与
- ・顧客関係者への ACE ブランドの浸透活動
- ・年次総会の開催と各種表彰
- ・テーマを決めた年次キャンペーン
- ・有名業界紙の表紙のカバー獲得

目標 2：会員の増員による代表権の拡大

- ・入会勧誘 (業界八割達成を目標)
- ・新分野企業の入会勧誘
- ・支部の増設および支部を通じた入会勧誘

目標 3：政府やその他顧客への営業活動

- ・将来の要求を先取りする政府への働きかけ
- ・地域ごとに顧客を集めたフォーラム開催

目標 4：業界情報の共有

- ・出版プロセスの専門化
- ・ACE ビジネス・アカデミーの開催

目標 5：協会の組織強化

- ・協会の統合経営の見直し
- ・ISO9001 および ISO14001 に照らした経営の見直し
- ・会費以外の収入の増収

5. ホームページ

<<http://www.acenet.co.uk/>>



シリーズ・FIDIC 会員協会の紹介 第5回

アメリカ・コンサルティング・エンジニア協会
(American Council of Engineering Companies)

広報委員会 編

1. ACEC の使命

米国エンジニアリング業界の代弁者である米国コンサルティング・エンジニア協会 (ACEC) のルーツは1909年に遡る。個人技術者集団が設立した American Institute of Consulting Engineers (AICE) がその前身にあたる。会員企業の事業利益の増進を図ると同時に米国の繁栄と福祉に貢献することを使命として掲げている。

2. 組織と会員企業

- ・協会本部：ワシントン
- ・支部：各州・地域に51のメンバー組織 (Member Organizations) を有す
- ・会長兼CEO：David A. Raymond 氏
- ・会員企業：5,000社以上。平均社員数は58人。年間売り上げ平均は550万USドル。環境分野の企業が約半数を占め、米国専門誌 Engineering News-Record の選ぶトップ500社のうち8割が会員。

3. 委員会活動

- ・協会の「戦略計画」(項目4を参照)を推進するため、主に次の活動に取り組んでいる。
- ・ア) CE産業を発展・保護する法規の提案、イ) エンジニアリング業界の問題や関心事に係る重要情報の提供、ウ) 会員企業に恩恵を与える製品やサービスの点検と推奨。
- ・委員会はオープン制と任命制に分かれる。一般的にオープン制は会員企業・社員のだれもが参加でき、いつでも開催が可能。一方、任命制は小規模の委員会で毎年1月から3月までの間に次期議長、あるいは他の責任者によって任命される。
- ・オープン制委員会には契約図書委員会、環境エネルギー委員会、連邦政府機関及び調達支援委員

会、ビジネスマネジメント委員会、リスクマネジメント委員会、税及び規制関連委員会など11の委員会と4つの分科会がある。

- ・任命制委員会は28を数え、政治活動代弁者委員会、規約・決議委員会、職業倫理委員会、土地開発実行委員会、政府支援擁護委員会、中小企業委員会などが挙げられる。

4. 戦略計画

- ◎ 基本目的：立法府に対する陳情を行う一方、ビジネスサービスを提供し、エンジニアリング企業の事業利益を増進させる。
- ◎ 核となる価値：以下の取り組みを通してより良い未来を築く。
 - ・科学と技術の適用をもって生活の質を向上させる
 - ・建造環境における公共の健康、安全、福祉を保護する。
 - ・高いレベルの職業倫理に忠実に基づき商行為を行う。
 - ・自然と建造環境における持続性の促進を図る
- ◎ ヴィジョン：プロフェッショナルな知識とサービスを建造環境のために提供する企業の事業利益を増進させるよう率先して取り組む。

ACEC 公式 HP : <http://www.acec.org/>

シリーズ・FIDIC 会員協会の紹介 第4回

ウズベキスタン コンサルティング・エンジニア協会
(the Uzbek Association of the Engineers - consultants and constructors)

広報委員会 編

1. UZACE の設立目的と活動内容

ウズベキスタン コンサルティング・エンジニア協会 (UZACE) は、2007年12月24日にウズベキスタン共和国法務省に登録された、非政府、非営利の団体である。高度な責任を要求されるコンサルティングサービスのレベルを引き上げるため、専門職業家協会として設立された。

主な活動内容は次のとおり。

- ・投資案件等の審査への担当部局との共同参画
- ・他国の協会やコンサルタントとの情報共有・交流機会の提供
- ・協会会員の教育訓練(海外での訓練を含む)
- ・セミナーや展示会の開催

2. 活動目標

UZACE の活動目標は次のとおり。

- ・ウズベキスタンのコンサルティングエンジニアサービスの発展
- ・この地域の問題解決の支援と良い事例の紹介
- ・協会メンバーの権利と正当な利益の保護
- ・ウズベキスタンの知的可能性の発掘
- ・ウズベキスタンのエンジニアサービスの他国への輸出拡大

3. 会員資格

協会会員は、協会の設立趣旨を理解し、倫理規定に従う必要がある。

また、次の業務を経験すべきである。

- ・フィジビリティスタディの段階にある設計活動
- ・施工管理のコンサルティングエンジニアサービス
- ・官民の土木分野での新設及び更新
- ・多様な部門の管理の専門家の獲得に関連する業務

4. トレーニングセンター

UZACE では、協会会員の専門レベルを引き上げる事

を目的に、トレーニングセンターを設立している。現在、センターでは次の5つのプログラムを体系化している。

1) ウズベキスタン及び他国の調達システム

ウズベキスタン及び他国の調達の仕組みと手段

2) 国際的な財務制度における信用と承諾

国際経済協力分野への参加便益と投資の誘引

3) 国際的な調達管理

投資案件の枠組みにおける物品、役務及びサービスの調達の実現

4) 国際競争入札での調達管理

国際競争入札の基本での物品、役務、サービスの調達の手続き

5) 国際競争入札でのコンサルティングサービスの調達管理

合理的価格での国内外のアドバイザー及びコンサルタント企業の活用

5. AJCE との関わり

AJCE と UZACE は、2009 年に相互協力や提携促進に関する覚書(MOU)を交わしている。今後、同じアジア地域の FIDIC-MA として、交流発展が期待されている。

UZACE 公式 HP : <http://www.uzace.org/>



FIDIC 会員紹介 バックナンバー			
第1回	カナダ	Vol.33 No.1	平成21年7月
第2回	オーストラリア	Vol.33 No.3	平成22年1月
第3回	韓国	Vol.34 No.1	平成22年7月

シリーズ・FIDIC 会員協会の紹介

韓国エンジニアリング協会 (Korea Engineering & Consulting Association)

広報委員会 編

1. KENCAの位置づけ

韓国エンジニアリング協会(KENCA)は、1976年10月に技術用役育成法の制定により設立された非営利協会(財団法人)で、政府・知識経済部の傘下にある機関。

同法は、エンジニアリングサービス産業を国の成長牽引力として位置づけており、KENCAは、国内で唯一、15のエンジニアリング分野(建設、情報通信、プラント、環境など)を網羅し、会員企業(SK建設、POSCO建設、三星エンジニアリング、現代エンジニアリングなど約4,000社)とともに韓国の技術発展と競争力強化に貢献している。

なお、年間予算、会員企業の平均的規模などについては、非公開となっている(協会に確認済)。

2. 組織構成

KENCAは、本部事務局の下に4つの部署(経営管理室、企画協力室、事業基盤室、研究安全室)を擁し、約46名が勤務している。また、技術協議会、委員会、14の地域支部が設置されている。

3. 所管事業

KENCAが所管する事業は、以下のとおりである。

- ア. 法令・制度の改善事業
- イ. 科学技術振興基金の支援事業
- ウ. エンジニアリング技術の振興事業
- エ. 情報化構築事業
- オ. 政府受託業務
- カ. 統計庁の承認業務
- キ. 技術協議会の支援事業
- ク. 「エンジニアリングの日」の制定と協会創立30年の記念行事計画
- ケ. 調査・研究事業
- コ. 教育の広報事業
- サ. 海外協力事業(FIDICシンポジウムなど)

4. 主な活動

主要な活動内容は、以下のとおりである。

1) 政府受託業務

- ① 知識経済部からの受託業務：エンジニアリング活動および変更の申告

- ② 国土海洋部からの受託業務：実績管理など用役業者についての罰則規定、及び、入札参加の制限事項の総合管理

- ③ 統計庁(財政経済部の傘下機関)の承認業務：エンジニアリング企業の入金実態調査、経営分析
- 2) エンジニアリング活動に対する支援業務

- ① 現状と関連統計調査
- ② 人材の技術向上のための教育及び指導
- ③ 国外進出の支援
- ④ 振興のための法令及び制度の研究・改善
- ⑤ 適切な単価基準の制定及び研究・改善

3) 科学技術振興基金の支援事業

- ① 知的生産を担う人材の育成：企業の教育プロセス支援及びOJT・Off-JTの実施)、国内外インターシッップの運営及びエンジニアリング短期過程の開設支援
- ② エンジニアリングのグローバル基盤構築：海外受注力の強化(F/S事業など受注交渉の支援及び市場開拓団の派遣)、海外進出の支援及びガイドラインの制作・普及など

5. 事業報酬について

KENCAの倫理要綱において、協会は技術の向上と事業の責任を担保するために、適正な技術報酬料と随意契約による事業が原則となっている。

6. その他

KENCAは1982年にFIDICに加盟し、2003年にはFIDIC-KAIST-KENCA教育研修協約(MOU)を締結している。

2008年にはソウルでASPAC会議を行い、国内外活動を推進している。

また、AJCEとKENCAは2008年に相互協力や提携促進に関する覚書を交わし、合同セミナーを開催するなど親密な関係である。

なお、日本から韓国にエンジニアリング技術の輸出を図る場合、国際関連業務については、基本的に事業基盤室の国際チームが担当している。

KENCA公式HP：<http://www.kenca.or.kr/>

シリーズ・FIDIC 会員協会の紹介 第2回

オーストラリア・コンサルティング・エンジニア協会 (ACEA)

広報委員会 編

第1回のカナダ・コンサルティング・エンジニア企業協会に続き、今回は、日豪交換研修でAJCEとも旧くから馴染みの深い、オーストラリア協会(ACEA)についてご紹介します。

1. ACEAの使命

ACEA (Association of Consulting Engineers Australia) は、オーストラリア国内初のコンサルティングエンジニアリング企業協会として、CE産業の事業利益を促進および保護するため、1952年に設立された団体である。

2. 活動目標

- ・会員企業の事業実施における法的環境の整備促進
- ・CE産業における能力開発
- ・CE産業の普及・会員企業の活動推進
- ・協会の運営維持および基盤強化

3. 組織 (2009年11月現在)

- ・協会本部: シドニー 支部: 8州に設置
- ・ACEA役員: 会長他24名(2008~2009年)、会長: Paul Reed氏
- ・会員企業: 約270社(建設・構造・地質・経営工学・機械・電気・化学・エネルギー・都市交通・環境・上下水道・建築・IT通信等の分野)

4. 財政

協会の事業収入(2008年度)は、353万豪ドル(約2億8,770万円)で、年会費(58%)、協会行事(26%)、広告・協賛(12%)他。事業支出は372万豪ドル(約3億318万円)。

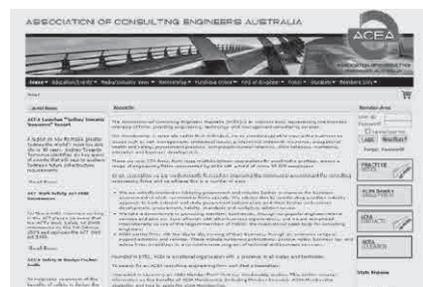
5. ACEAのおもな活動

- ・オーストラリア国内のCE業界を代表し、国および州の政府、その他の産業界に対して意見、要望を提出
- ・テーマ毎に円卓会議を設置。テーマは以下の8つ:
 - ①労働安全衛生
 - ②スキルと資源
 - ③契約と責務
 - ④実践と調達
 - ⑤持続可能性
 - ⑥経済と税制
 - ⑦インフラ整備
 - ⑧国際
- ・ハイレベルな会議などのイベントを主催あるいは参加し、CE業界の周知を促進

- ・教育研修プログラムの実施。現在は設計における安全性、コンサルタントのための契約、持続可能な建築設計の3プログラムを実施中。
- ・商工会議所、建設産業界等さまざまな業界団体との緊密なネットワークの形成・維持。
- ・さまざまなメディアを活用した広報活動や教材の作成・発刊
- ・CE業界に関するレポートの作成・発刊
- ・会員企業に対する海外事業の機会の紹介・斡旋
- ・州を基本とした8つの地域毎にセミナー開催など地域独自の活動も実施

6. AJCEとの関わりについて

アジア太平洋地域を代表するACEAとAJCEは、古くから協力関係にある。1994年FIDICシドニー大会において、日豪両CE協会の間で協力覚書(MOU)を交わりたい旨、豪州側から申し入れがあり、翌1995年10月14日、東京で調印式が行われた。なかでもこの覚書に基づき翌96年から始まった若手エンジニアの交換研修制度は、相互の国を数週間に亘って訪問し、お互いの国の技術やビジネススキル、文化を学ぶとともに人脈構築などを通じて将来のビジネス展開を目指した研修として、好評裡に今日まで継続されている。その詳細は、本誌特集でも紹介している。



ACEAのWebsite <http://www.acea.com.au/>

FIDIC 会員紹介 バックナンバー

- 第1回 カナダ Vol.33 No.1 平成21年7月
- 第2回 オーストラリア Vol.33 No.3 平成22年1月

シリーズ・FIDIC 会員協会の紹介 第1回

カナダ・コンサルティング・エンジニア企業協会 (ACEC)

広報委員会 編

はじめに

海外の FIDIC 会員協会の活動状況を知り、AJCE 活動に役立てようということで、新シリーズ「FIDIC 会員協会の紹介」をはじめました。

記念すべき第1回は FIDIC 会長 Boyd 氏の出身協会であり、昨年の FIDIC ケベック大会を主催したカナダ・コンサルティング・エンジニア企業協会 (ACEC) を取り上げます。

今後は、若手の交換研修を行っているオーストラリア、AJCE と覚書を締結している韓国・ウズベキスタン、などを予定しています。

1. ACEC の使命

ACEC (Association of Canadian Engineering Companies) は、カナダのエンジニアリング企業を会員とする協会。協会の使命は、「国内外におけるカナダのコンサルティング・エンジニア産業の事業及び利益を増進・保護すること」。

2. 活動目標

- ・付加価値の高い専門技術を提供する専門家集団として、CE 産業のイメージ向上をはかる
- ・会員の利益に係る、国の政策及び事業実施に関して効果的なロビー活動を行う
- ・技術によるコンサルタント選定 (QBS) に関して積極的に発言する

(ACEC は、会員のボランティア活動に支えられている)

3. ACEC 組織

- ・協会本部：オタワ、支部：11 州に設置
- ・ACEC 役員：会長他 19 名 (2008 年～2009 年)、会長：Chris Newcomb 氏
- ・会員企業：約 600 社 (農業・通信・建設・エネルギー・環境・林業・地質等の分野)
- ・準会員 (対象分野)：金融機関・環境企業・会計会社・法律事務所・建築家及び都市計画
- ・委員会：財務委員会、国際委員会、国防連絡委員会、官民資産管理審議会、監査・調査室、QBS 分科会、契約分科会、資金運用委員会 (各支部から委員を選出)

4. ACEC 活動

- ・カナダ政府に対し、国内のインフラ整備の促進と CE の活用に関する意見書提出
- ・カナダ国際開発機構 (CIDA) に対し、発展途上国へのインフラ援助拡大に関する意見書提出
- ・ACEC 国際委員会と国際協力大臣との会談
- ・政府予算のコンサルティング・エンジニアに与える影響についての意見書の提出
- ・内閣委員会に対し、コンサルタント調達に関する意見書の提出、等
- ・議会および政府に対し、海外事業に関する計画立案・実施上の助言・指導等を活動。

5. 財政

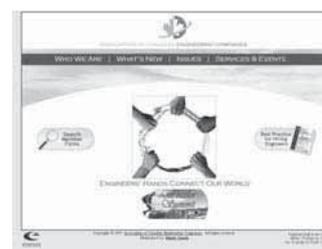
協会の事業収入 (2007 年度) は、1 億 4590 万円で 年会費 (67%)、協会行事 (23%) 販売 (4%)。事業支出は、1 億 3697 万円で 協会運営費 (74%)、協会行事 (18%) 他。

6. ACEA 会員の声

- a) 「コンサルタント業界の統一した声として、政府機関に対し、600 社の声は 1 社の声よりも、はるかに大きく、効果的だ」
- b) 「ACEC は我々企業に代わり、法律・規制に関連する利益保護など微妙な国政問題に対応してくれる」
- c) 「協会が支持している QBS (品質に基づくコンサルタントの選定) は調達の改革推進とライフサイクル費用の削減をもたらしている」

終わりに

ACEC と AJCE は、Boyd 会長をとおした繋がりが深く、昨年は AJCE の要請を受けて、Boyd 会長と Enrico 専務理事が文部科学省、国土交通省、国際協力銀行の幹部を表敬訪問し、日本のコンサルタントの海外市場進出について、相互に示唆に富んだ意見交換が行なわれた。



ACEC の Web-site、
<http://www.acec.ca/>